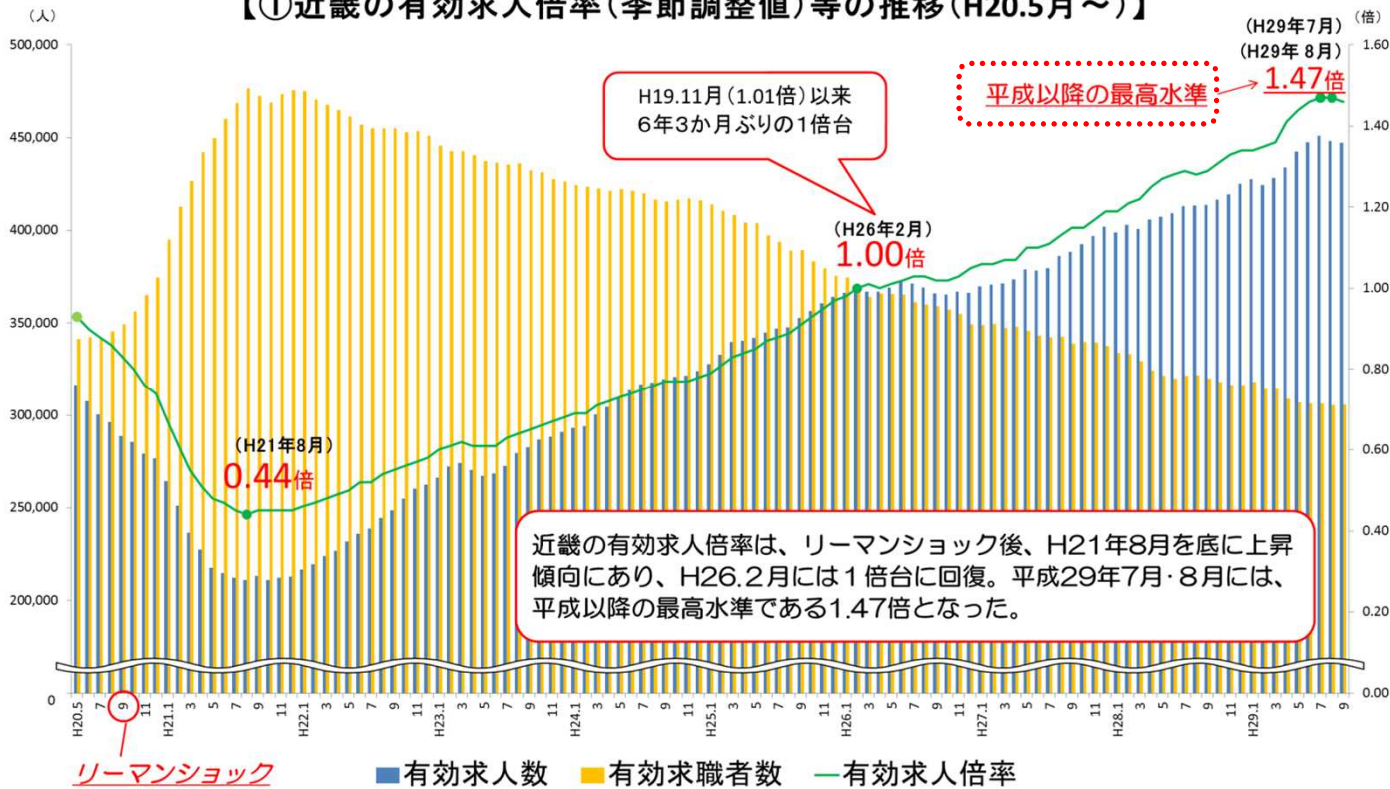


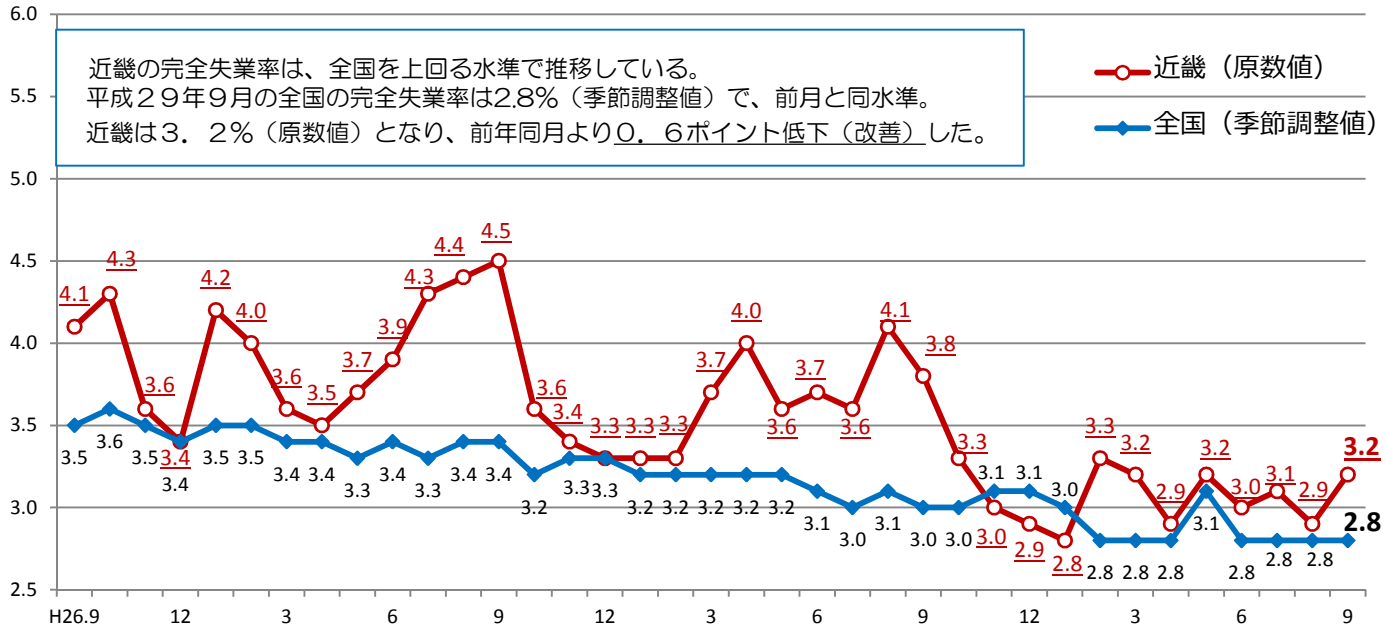
【①近畿の有効求人倍率(季節調整値)等の推移(H20.5月～)】



近畿の最新月の状況 (平成29年9月)

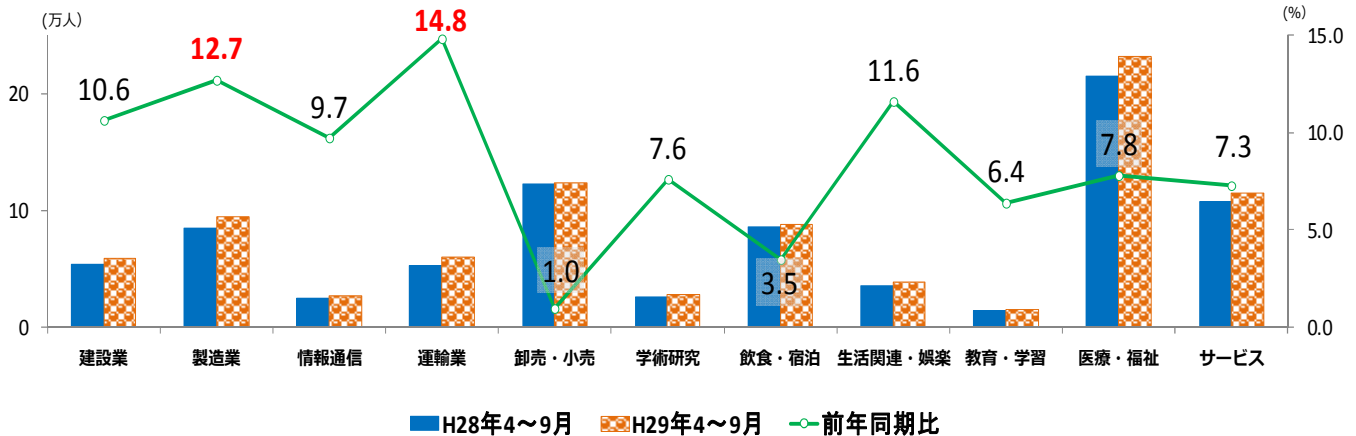
■有効求人倍率(季節調整値)	1.46倍	(対前月差0.01P低下)	↓
(滋賀1.32倍 京都1.50倍 大阪1.59倍 兵庫1.30倍 奈良1.37倍 和歌山1.24倍)			
■新規求人倍率(季節調整値)	2.22倍	(対前月差0.04P低下)	↓
■有効求人数(季節調整値)	447,190人	(対前月比0.2%減少)	↓
■有効求職者数(季節調整値)	305,808人	(対前月比0.1%増加)	↑
■新規求人数(季節調整値)	157,730人	(対前月比3.3%減少)	↓
■新規求職申込件数(季節調整値)	71,186件	(対前月比1.2%減少)	↓
■完全失業率(原数値)	3.2%	(前年同月より0.6P低下)	↓

【②完全失業率の推移(全国・近畿 月別)】



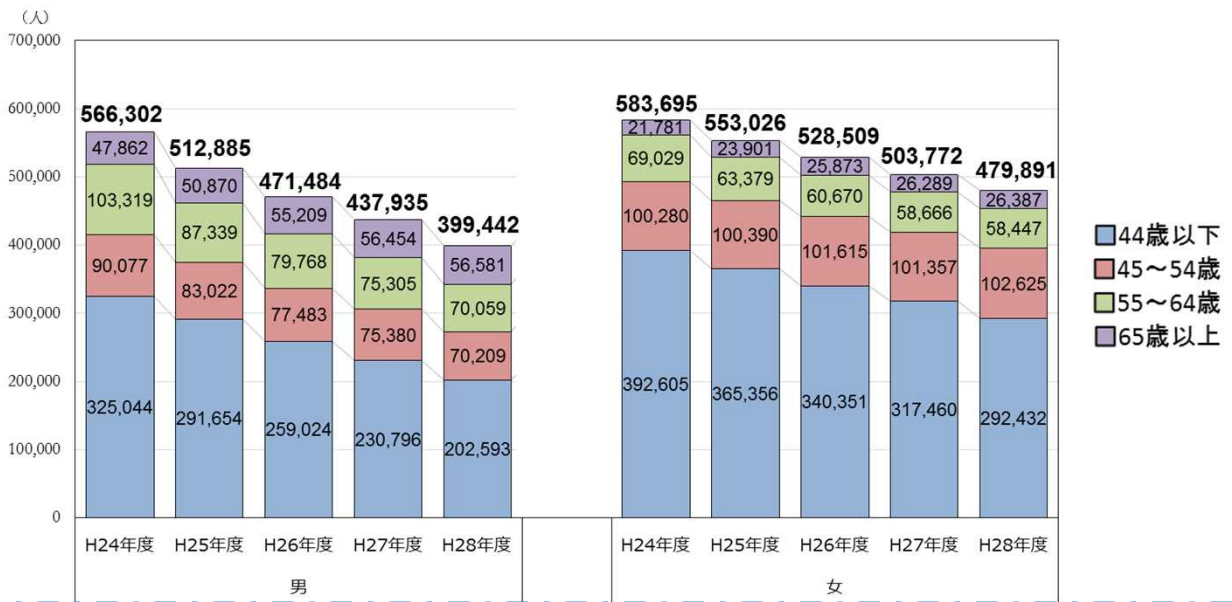
【③近畿 産業別新規求人数の状況(原数値)】

	産業計	建設業	製造業	情報通信	運輸業	卸売・小売	学术研究	飲食・宿泊	生活関連・ 娯楽	教育・学習	医療・福祉	サービス
H29年4～9月	931,600	59,908	95,238	27,387	60,281	123,950	28,164	88,457	39,143	15,015	231,843	114,764
H28年4～9月	865,949	54,185	84,484	24,968	52,495	122,675	26,164	85,435	35,061	14,116	215,022	106,916
前年同期比	7.6	10.6	12.7	9.7	14.8	1.0	7.6	3.5	11.6	6.4	7.8	7.3



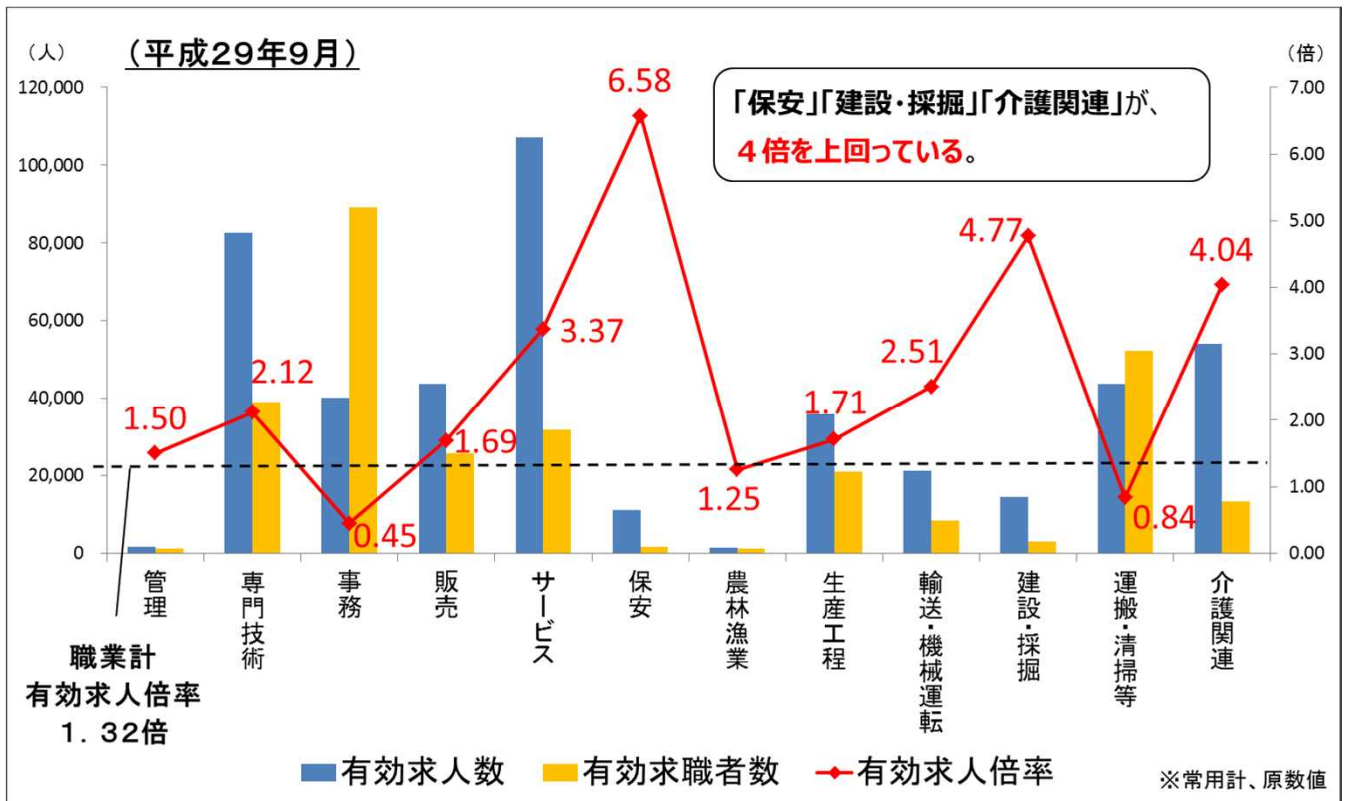
H29年4月～9月の近畿の新規求人数は、前年同期比7.6%増加。
主な産業別にみるとすべての産業で増加している。増加率では「製造業」と「運輸業」が、増加人数では「医療・福祉」が大きくなっている。

【④近畿 年齢・性別 新規求職申込件数の推移】(過去5年)



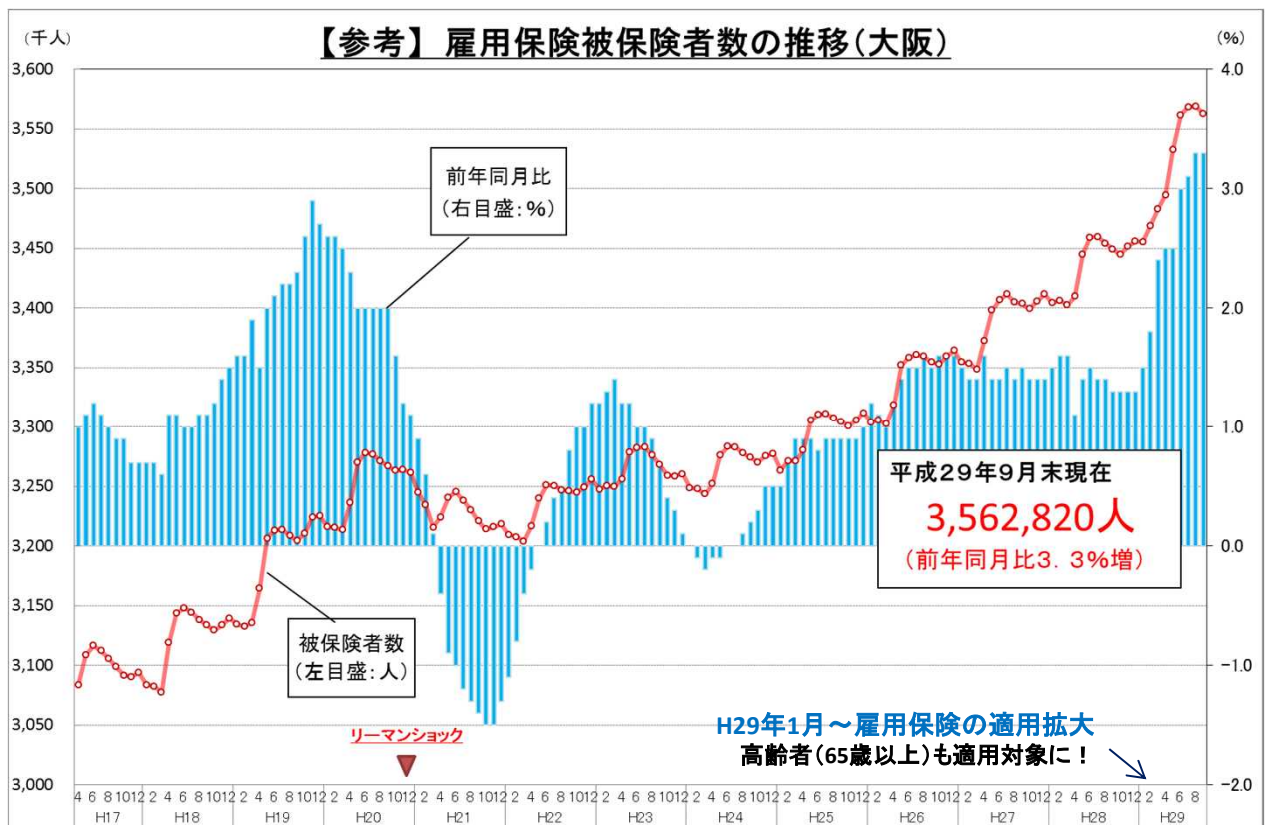
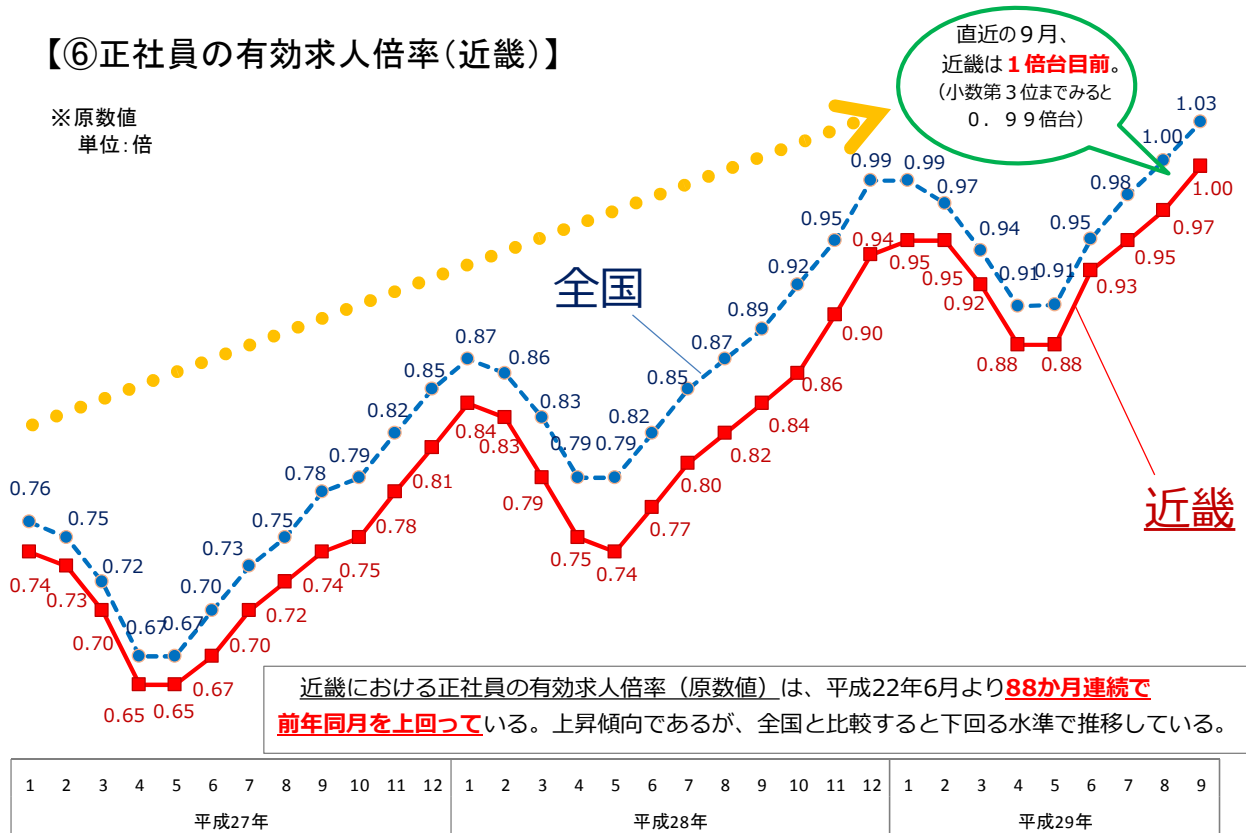
・新規求職者(常用計)は男女とも減少が続いているが、**男性の減少幅が大きく、特に「44歳以下の男性」の減少幅が大きい。**
 ・全体では減少が続く中、「**65歳以上の男性・女性**」「**45歳～54歳の女性**」が増加している。
 ⇒「**好調な雇用情勢**」「**少子化**」を背景に若年層を中心に求職者が減少傾向にあるが、従来労働市場に出ていなかった「**65歳以上(定年後)の男女**」「**中高年齢層を中心とした女性**」が、新たに労働力に出てきているものとみられる。

【⑤近畿 職業別有効求人倍率等の状況】



【⑥正社員の有効求人倍率(近畿)】

※原数値
単位:倍

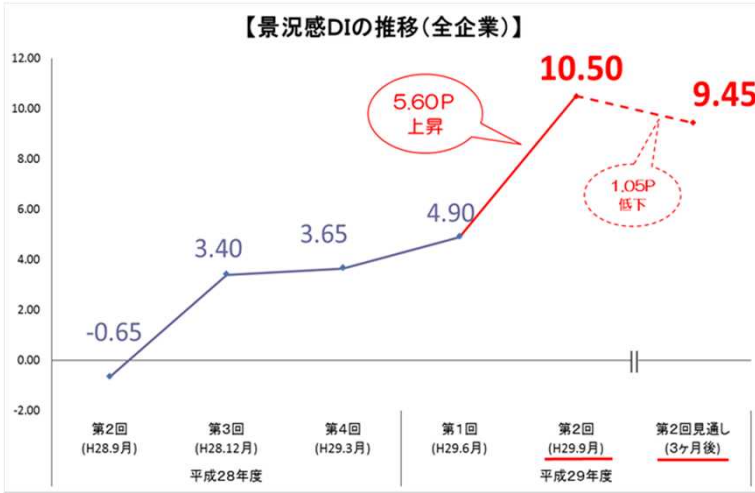


○平成29年度 第2回ハローワーク雇用等短期観測の結果

【調査時期：平成29年9月1日～9月29日 回答企業：315社】

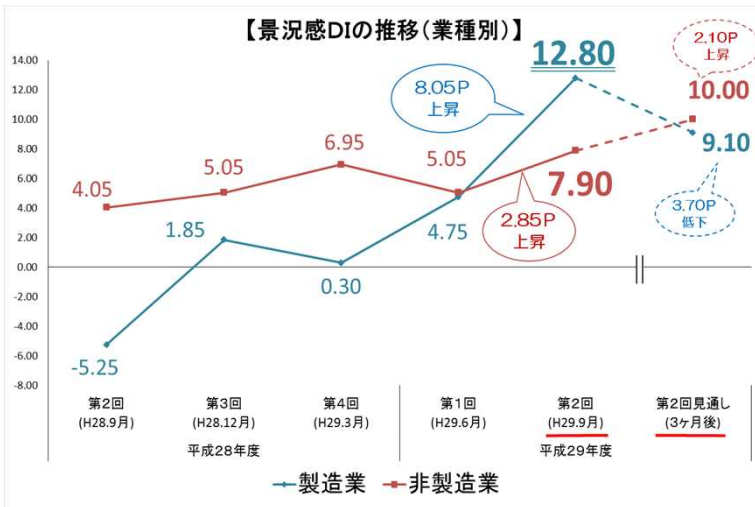
◇景況感について

※大阪労働局では、事業所サービスの一環として、大阪府内の景気や事業活動による雇用への影響等を的確に把握し、事業主に必要なサービスを提供するために、平成25年度から四半期毎に、ハローワークによる管内企業への個別ヒアリングを実施しており、今回平成29年度第2回目を実施しました。



景況感DIは、前回より**5.60P上昇**と、大幅に上昇している。

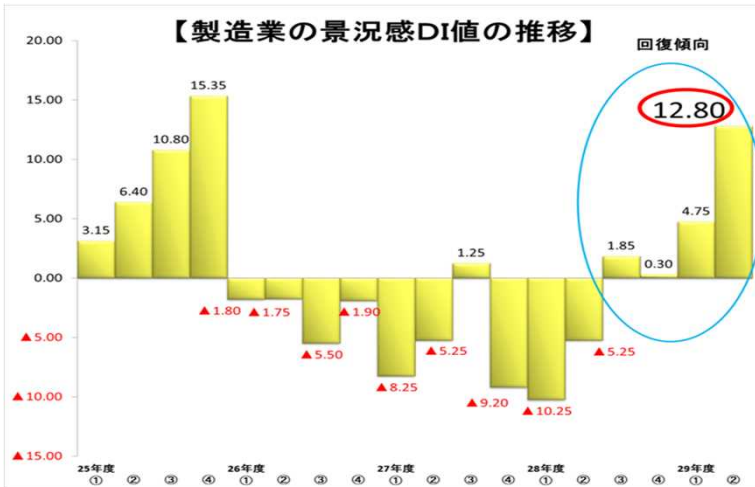
※景況感DI:「良い」または「やや良い」と回答した企業の割合から「悪い」または「やや悪い」と回答した企業の割合を差し引くことによって算出した指数。



景況感DIを業種別にみると、「非製造業」では**7.90**と前回は2.85ポイント上回っている一方、「製造業」では**12.80**と前回は**8.05**ポイント上回っており、12四半期ぶりに製造業が非製造業を上回った。

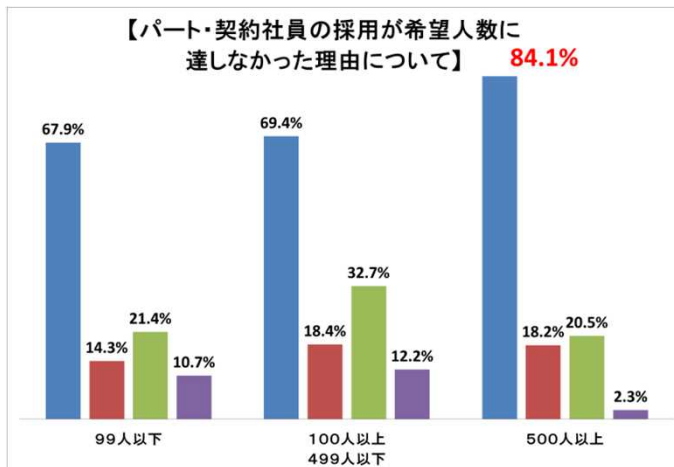
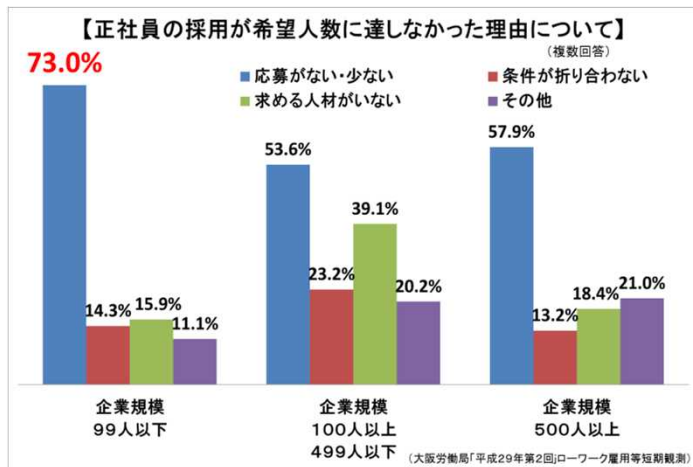
平成25年度第1回からの製造業の景況感DI値の推移を見ると、平成26～28年度前半はマイナス傾向で低迷していた。

平成28年度後半からプラスに転じ、今回でDI値**12.80**まで上昇した。



特に**製造業**で**景況感の改善**が進んでおり、**求人**の増加傾向とも一致する。

◇採用状況について（平成29年6月～8月まで）

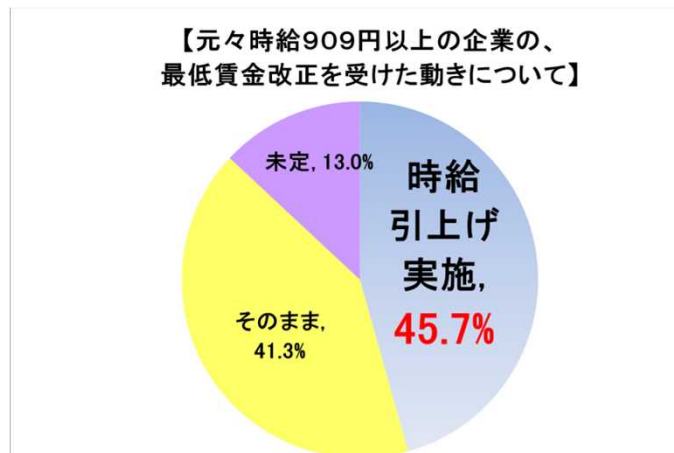
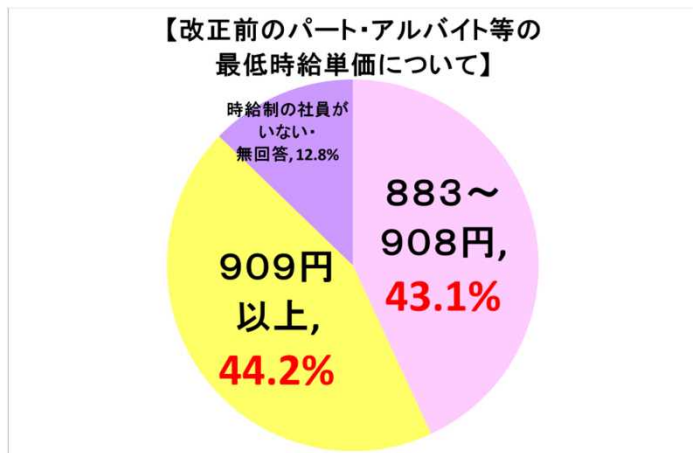


- ・従業員の採用が希望人数に達しなかったと回答した企業にその理由を尋ねたところ、募集をかけても「**応募がない、または少なかったため**」との回答が一番多かった。
- ・99人以下の企業では、正社員の「**応募がない、または少なかった**」と回答した企業が**73.0%**に上った。
- ・500人以上の企業でパート・契約社員の「**応募がない、または少なかった**」と回答した企業が**84.1%**に上った。

企業の声

- ・**人員が集まらず、現場が回らない**。応募が1～2名しかなく、しかも作業を任せられる人材ではなかった。先行きが非常に懸念される。(総合工事業・99人以下)
- ・今後、**有資格者(溶接関係)の採用が難しくなる**のではと懸念している。(はん用機械器具製造業・99人以下)

◇大阪府最低賃金引き上げ（883円→909円）に伴う企業の動きについて



- ・改正前のパート・アルバイト社員等の最低時給単価について聞いたところ、**883円～908円が43.1%**、**909円以上が44.2%**であった。
- ・改正前から時給が909円以上であった企業についても、**45.7%**が「今回の最低賃金改正に伴って**時給を引き上げる**」と回答しており、**幅広く賃金が引き上げられている**。

企業の声

- ・ここ数年大変きつい最低賃金引き上げとなっている。初心者の賃金を引き上げるとなれば、既存のパート、契約社員から正社員に至るまで**全て上げないと不満がたまる**。(飲食サービス業・100人以上499人以下)
- ・扶養の範囲内を希望する社員は勤務時間の減少を余儀なくされ、**人手不足を引き起こしている**。税金制度も併せて整備してほしい。(建築材料、鉱物・金属材料等卸売業・99人以下)